

田辺周辺広域市町村圏組合一般廃棄物処理施設 第6回用地選定検討委員会
会議録（概要版）

【日時】 令和7年11月14日（金） 14時00分～15時00分

【場所】 紀南広域廃棄物最終処分場 管理棟2階会議室

【出席者】

（委員）

学識経験者 吉田登、櫻井祥之、八鍬浩、土永知子

住民代表 野村悠一郎、田中晴好、來栖末美、田中利典、瀧本美奈

（オブザーバー）

構成市町廃棄物担当課長 井澗伴好、阪口好文、榎本崇広、（代）木村弘行、長澤哲治

（事務局）

田辺周辺広域市町村圏組合 清水局長、古久保主任、孫本主査

（技術支援業務受託者）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 2人

【内容】

1. 開会
2. 委員会スケジュールについて
3. パブリックコメントの回答（案）について
4. 3次選定の考え方について
5. 第7回委員会の開催方法について
6. 閉会

1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶を行った。
- ・委員長より挨拶。

2. 委員会スケジュールについて

事務局 前回までの委員会を踏まえて絞込みをした結果、候補地が多く残っており、全てを比較評価して審議いただくことは困難と判断した。また、候補地の中には急傾斜地や水道の引き込みが困難な箇所もあった。そのため、3次選定の考え方を再検討したものを本日説明する。また、委員会スケジュールについては、委員会の開催予定を変更している。

3. パブリックコメントの回答（案）について

事務局 パブリックコメントは提出されなかった。
委員長 パブリックコメントがなかったことに対して、事務局はどのような思いがあるか。
事務局 意見が無いというのは残念な思いはあるが、改めて本委員会において公正な選定が必要であることを認識した。

4. 3次選定の考え方（案）について

事務局 3次選定の考え方について、変更箇所を示しながら説明した。

委員長 配点はどのような考え方で設定されたのか。
事務局 基準を5点として、その上で評価項目の重みづけを考慮して配点を検討した。自然改変については、自然の復旧に時間を要することを踏まえて7点にした。住宅からの距離や防災は基準である5点とした。経済性は基準の倍とした。人口重心からの距離は、内容が収集運搬費と重複しているため、基準より低い3点とした。地上権・抵当権は、権利付きの場合は用地取得の難度が高くなるため7点とした。

委員長 経済性については、いずれかの費用で見れば結果がみえるものではなく、積み上げが必要であるか。
事務局 詳細な積算による。点数は合計により評価する。

委員長 委員意見を踏まえて生物多様性保全上注目すべき地域を絞込み項目にされたとのことであるが、点数で比較するものではないということか。
委員 区域に隣接しているようなところや、区域内を選定すると、説明しづらく、また批判の対象になる可能性がある。市町の財産であることから、点数により評価するのではなく、除外する方がよい。
また、自然林は復旧が困難であるが、植林地に遠慮して施設を建てないのはもったいないと考える。

副委員長 行政出身の立場からすれば、財政計画の作成はシビアであるとする。経済性の評価については大変な作業になると思うが、シビアに検討いただきたい。

委員 配点において、点数が高いほど適正であるとする。宅地造成等工事規制区域と特定盛土等規制区域において、盛土高さの高い後者の方が、配点が高いのはなぜか。

事務局 宅地造成等工事規制区域は住宅地に近い区域における盛土高さ等を規定している。一方で特定盛土等規制区域は、宅地造成等工事規制区域よりも住宅地から離れている。各区域の条件により、配点を考慮した。

委員長 盛土等の項目は最低点が1点であるが、他の項目では最低点は0点である。例えば上から、5点、3点、2点、1点、0点としてはどうか。

事務局 事務局としては問題ない。

委員一同 異議なし。

委員長 用地取得において、地上権・抵当権が一つでもあると、7点から2点に下がるように設定されている。

事務局 抵当権がある場所は、本当は除外したいが、候補地全域の確認は困難であるため、点差で評価している。

委員 開発の申請がある地域とは、具体的にいつまでの申請であれば絞込みに反映するのか。

事務局 3次選定の検討中であれば反映できるが、比較評価結果が出てからは反映できない。

委員長 開発申請の情報はどのように取得されるのか。

事務局 構成市町の担当者より随時提供いただく。

委員長 3次選定の考え方については、以上でよいか。

委員一同 異議なし。

5. 第7回委員会の開催方法について

事務局 第7回委員会は2/19に開催する。3次選定の比較評価結果を審議いただく。委員会は非公開とする。

副委員長 次回の委員会では何を審議するのか。

事務局 3次選定による絞込み、及び比較評価結果による順位を確認いただく。

副委員長 他事例では、委員会で点数を付けた後に、地域概況を踏まえて検討することがある。本委員会では地域代表の委員も在籍しているが、点数以外の評価をすることは可能か。

事務局 比較評価結果以外に、候補地に対する留意点があれば付記いただくことを想定している。本委員会の答申を委員長から市長に渡していただき、最終的には各市町の首長協議により決定する。

委員長 比較評価以外の事項は、但し書きで付記いただくということでよいか。
委員 それでよいと考える。
委員一同 異議なし。

6. 閉会

以上